

播陽証券 ＝注目・外株銘柄＝ (2026年7月)

【米国市場・20銘柄掲載】

<新規>

- P1【投資銀行】 ゴールドマン・サックス(GS)
P2【電力設備】 GEベルノバ(GEV)
P3【半導体製造装置】 アプライド・マテリアルズ(AMAT)
P4【半導体】 アナログ・デバイセズ(ADI)
P5【専門店小売】 ロス・ストアーズ(ROST)

<継続>

- P6【マグニフィセント7】 エヌビディア(NVDA)
P7【マグニフィセント7】 アルファベット(GOOG)
P8【マグニフィセント7】 アップル(AAPL)
P9【マグニフィセント7】 マイクロソフト(MSFT)
P10【マグニフィセント7】 アマゾン・ドット・コム(AMZN)
P11【マグニフィセント7】 メタ・プラットフォームズ(META)
P12【マグニフィセント7】 テスラ(TSLA)
P13【半導体】 マイクロン・テクノロジー(MU)
P14【半導体】 アドバンスト・マイクロ・デバイセズ(AMD)
P15【半導体】 クアルコム(QCOM)
P16【半導体】 マーベル・テクノロジー(MRVL)
P17【半導体製造装置】 ASMLホールディングADR(ASML)
P18【通信機器】 コーニング(GLW)
P19【データ解析】 パランティア・テクノロジーズ(PLTR)
P20【セキュリティ】 データドッグ(DDOG)

(株価データ、株価指標は現地2026年6月29日現在)

<新規>

- 大きく変容する資本市場のプロデューサー
電力設備の世界最大手
エッチングや成膜装置に強く、幅広い工程に関与する大手
アナログ半導体世界大手、DC向けパワー半導体で注目
集客力のある「オフ・プライス・ショップ」を展開

<継続>

- 時価総額トップに君臨するAI半導体開発企業
インターネット検索世界最大手
デジタルIT機器の設計・販売大手
ソフトウェア世界最大手
インターネット小売世界最大手
SNS運営世界最大手
米電気自動車(EV)大手
米国を代表するDRAM・NANDメモリ大手
CPUからFPGA・GPUまで多品種を揃える半導体メーカー
M&Aで光通信部品も強化したASIC大手
通信技術を基盤とした総合半導体企業
先端半導体製造の要、EUV露光装置を唯一製造
特殊ガラス製品メーカー、光ファイバー製造米国最大手
防衛から民間まで広範にデータ分析プラットフォームを提供
AI監視で成長するクラウド型可観測ツールの世界最大手

大きく変容する資本市場を牽引、多角的な恩恵を受ける「隠れたAI銘柄」

会社概要

1869年設立の世界最大級の投資銀行。M&A(合併・買収)の助言業務に伝統的な強みを持ち、グローバルM&Aランキングで首位の実績を誇る。株式や債券のトレーディング業務、企業の資金調達を支援する投資銀行業務、資産運用業務などを幅広く展開。近年は積極的な自社株買いや増配といった株主還元を実施、資本効率を高めている。社員数は約47,000名(26年3月末)。2013年にNYダウ平均採用。

注目ポイント

□ **投資銀行の商機再拡大**: 米国企業の資金政策が、従来の「株主還元」重視から「資金調達からの設備投資」重視へと大きく変容している。巨額のAIインフラ投資や米国製造業の回帰を背景に、企業の資金調達活動が活発化し、投資銀行の商機が拡大。M&A助言や資金調達支援等で中心的な役割を演じる同社に追い風となっている。

□ **隠れたAI恩恵銘柄**: 同社はAI化の波から多角的な恩恵を享受。第一に活況なAI相場を背景に株式トレーディング収入が好調であること。第二にアンソピクなどのAI関連企業の大型IPO・資金調達の主幹事を務めている点。第三に自社内へのAI導入によるリストラ効果(予測精度向上や自動審査等)が高く、内部の収益性の向上等がある。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	1020.21 (06/29)
52週高値(日付)	1125 (26/06/18)
52週安値(日付)	691.91 (25/07/16)
時価総額	3,128億 ^{ドル} 50兆6,475億円
株価変化率(%)	14.4 (過去6ヶ月間) 47.7 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	18.4 (倍)
株価売上高比率	2.5 (倍)
PBR	2.8 (倍)
税前配当利回り(%)	1.76 (直近年率)
配当成長率(%)	41.7 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	15.7 (%)
株式ベータ	1.26 (対S&P500)

通期業績								
決算期	経常収益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	税引前利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (^{ドル})	配当 (^{ドル})
2024/12	53,512	16	18,397	71	13,525	71	40.54	11.50
2025/12	58,283	9	21,852	19	16,300	21	51.32	14.00
四半期業績								
2025/Q1	15,062	—	5,647	—	4,583	—	14.12	3.00
2026/Q1	17,227	14	6,486	15	5,630	23	17.55	4.50

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

AI革命の影の主役、データセンターの電力消費の急増を支える巨大インフラ企業

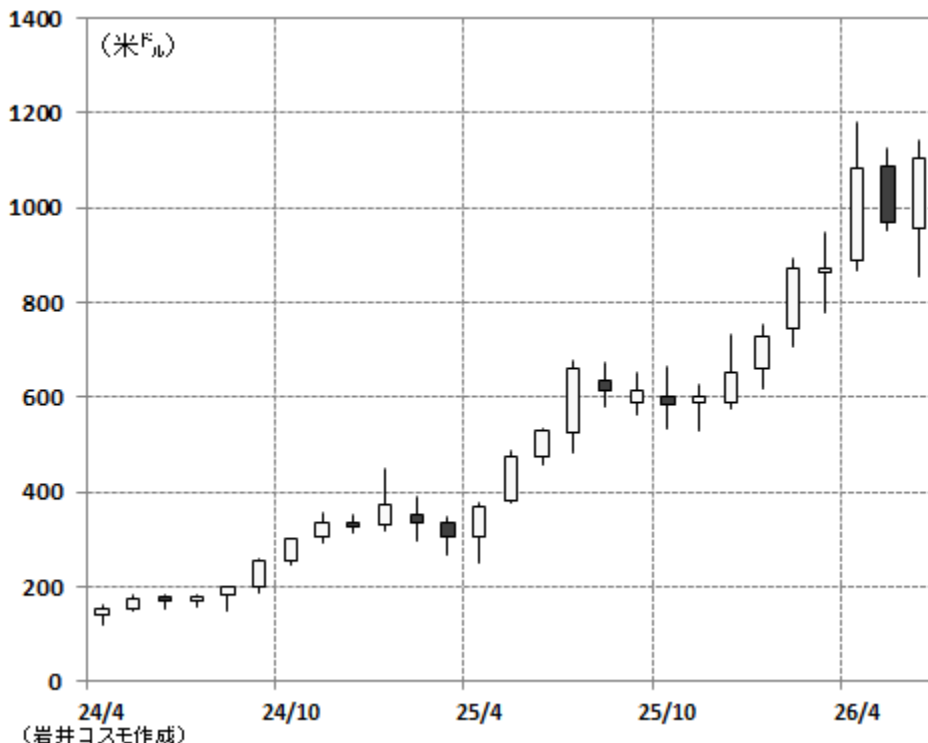
会社概要

24年4月にゼネラル・エレクトリックからスピノフし独立上場したエネルギーインフラ大手。電力(ガスタビン等)、風力、電化(送配電網)の3部門体制で展開。発電・送電設備の製造からシステム導入、稼働後の保守・メンテナンスに至るまでを一貫して提供する独自のバリューチェーンを構築。世界の電力の約30%の供給に関与し、設備の売り切りから長期サービス契約による継続的な安定収益モデルへの移行を進めている。

注目ポイント

□ **AI需要と送電網の近代化で活躍**: AIデータセンターの稼働に伴う膨大な電力需要の急増と、老朽化した送電網の近代化という国家レベルの巨大なインフラ特需を直接的に享受。同社と日立との合併で次世代「小型モジュール炉(SMR)」も開発し、業容の広さ・大きさから「エネルギー転換の巨人」と評する声もある。

□ **利益率向上が進展へ**: 足下、数十億ドル規模のAIデータセンター関連受注を獲得し、2028年の売上高目標520億ドルを掲げ、構造的で長期のインフラ受注サイクルが当面、続くことが期待される。高単価なインフラ機器と長期保守契約の組み合わせがもたらす利益率の更なる向上と、それに伴う資本効率の一段の上昇が期待される。



株価チャート (分離上場以来・月足)

株価データ		株価指標 (バリュエーション)		通期業績								
株価(米ドル)	1102.51 (06/29)	実績PER	51.8 (倍)	決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
52週高値(日付)	1181.81 (26/04/23)	株価売上高比率	7.6 (倍)	2024/12	34,935	5	471	黒転	1,552	黒転	5.58	0.00
52週安値(日付)	482.74 (25/07/01)	PBR	21.3 (倍)	2025/12	38,068	9	1,388	2.9倍	4,884	3.1倍	17.69	0.25
時価総額	2,963億ドル 47兆9,774億円	税前提当利回り(%)	0.18 (直近年率)	四半期業績								
株価変化率(%)	66.2 (過去6ヶ月間) 112.2 (過去1年間)	配当成長率(%)	250.0 (過去1年間)	2025/Q1	8,032	—	43	—	254	—	0.91	0.25
		株主資本利益率(ROE)	83.2 (%)	2026/Q1	9,339	16	179	4.2倍	4,745	19倍	17.44	0.50
		株式ベータ	1.24 (対S&P500)									

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

AI半導体の進化を根底から支える半導体製造装置の世界大手

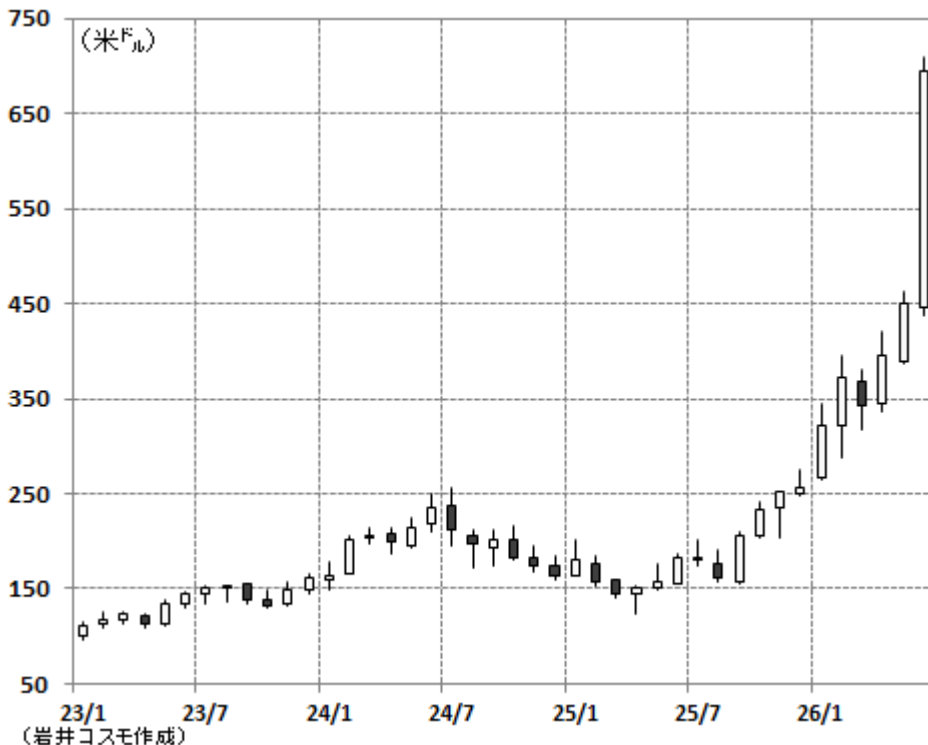
会社概要

1967年設立の世界最大級の半導体製造装置メーカ。半導体製造の前工程における成膜(CVD、PVD等)、エッチング、検査に至る広範なプロセスを網羅。特に金属配線形成に不可欠なスパッタリング装置(PVD)で8割以上のシェアを誇る。最先端ファウンドリ向けに複数工程を統合したプラットフォームを提供し、顧客企業へ高付加価値を創出できるが同社の強み。本社はカリフォルニア州。

注目ポイント

□ **先端半導体構造の複雑化で商機:** AIインフラ向けのHBM(広帯域メモリ)や最先端パッケージング需要の拡大を享受する。加えて、次世代トランジスタ構造「GAA」の本格的な量産移行期に位置。GAAの心臓部となるナノシート形成に必須の「エピタキシャル成長装置」などで優位に立ち、今後数年にわたる構造的成長サイクルの初期段階にある。

□ **「総合力」という強み:** 最大の強みは成膜から高精度な材料除去(選択的エッチング)までGAA向けの一連の工程をワンストップで提供できる総合力。このプラットフォームでの困り込みにより、最先端プロセスでの優位性を維持。2027年以降を見据えた設備投資トレンドと、それに伴う利益率の飛躍的な向上が今後期待される。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ		株価指標 (バリュエーション)		通期業績								
株価(米ドル)	694.64 (06/29)	実績PER	70.4 (倍)	決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
52週高値(日付)	708.985 (26/06/29)	株価売上高比率	19.0 (倍)	2024/10	27,176	2	7,867	3	7,177	5	8.61	1.52
52週安値(日付)	154.48 (25/09/03)	PBR	23.1 (倍)	2025/10	28,368	4	8,289	5	6,998	-2	8.66	1.78
時価総額	5,515億ドル 89兆3,125億円	税前提当利回り(%)	0.31 (直近年率)	四半期業績								
株価変化率(%)	164.1 (過去6ヶ月間) 279.1 (過去1年間)	配当成長率(%)	15.1 (過去1年間)	2025/Q2	7,100	—	2,169	—	2,137	—	2.63	0.46
		株主資本利益率(ROE)	39.7 (%)	2026/Q2	7,910	11	2,523	16	2,806	31	3.51	0.53
		株式ベータ	1.46 (対S&P500)									

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

現実世界とAIを繋ぐ架け橋、フィジカルAIと光通信を支えるアナログ半導体大手

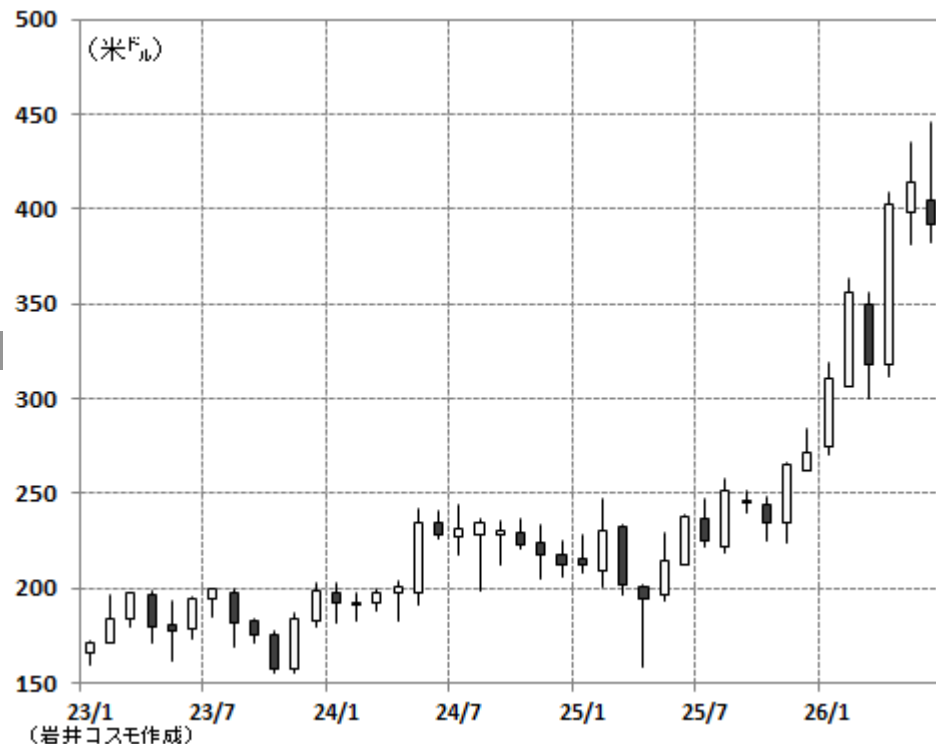
会社概要

温度、圧力、音声などのアナログ信号をデジタルデータに変換するデータコンバータや、パワーマネジメント(電力管理)ICを手掛ける大手。他、光モジュール用の精密制御ICや高効率な電源ソリューションを提供。製品寿命が10年以上と長く、顧客のシステムに組み込まれると切り替えが困難な点が強みである。自社工場と外部ファウンリの併用でリスクを分散し、10万社を超える顧客基盤を持つ。本社はマサチューセッツ州。

注目ポイント

□ **フィジカルAIで優位**: 現実世界の物理データをデジタルに変換してAIに読み込ませる技術の重要性が高まっている。ロボティクスや工場自動化等の「フィジカルAI」の普及において、同社のアナログ技術は必要不可欠。さらに、AIデータセンターの膨大なトラフィックを支える光通信向けソリューションも、新たな成長ドライバーとして期待される。

□ **産業向けの過剰在庫一巡も追い風**: 足下ではデータセンター向けが急成長し、売上高の1割強に達した。また、これまで足かせとなっていた産業向けセクターの過剰在庫調整が想定より早く一巡・底打ちしたことが追い風となり、業績は7割超の粗利益率を確保し急回復傾向。26年2月には22年連続となる増配(従来比11%増)を発表した。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	391.78 (06/29)
52週高値(日付)	445.83 (26/06/22)
52週安値(日付)	218.4 (25/08/06)
時価総額	1,908億ドル 30兆9,032億円
株価変化率(%)	42.1 (過去6ヶ月間) 65.3 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	39.9 (倍)
株価売上高比率	15.1 (倍)
PBR	5.7 (倍)
税前提当利回り(%)	1.12 (直近年率)
配当成長率(%)	9.4 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	9.6 (%)
株式ベータ	1.42 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/10	9,427	-23	2,033	-47	1,635	-51	3.28	3.62
2025/10	11,020	17	2,932	44	2,267	39	4.56	3.89

四半期業績

2025/Q2	2,640	—	678	—	570	—	1.14	0.99
2026/Q2	3,623	37	1,380	104	1,176	106	2.40	1.10

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

インフレ下の生活防衛と宝探し体験で客足を伸ばす、躍進中のオフプライス・ショップ

会社概要

1982年設立。全米で「ロス・ドレス・フォーレス」等を展開するオフプライス・ショップ大手。独自の強力なバイヤー網を駆使し、国内外のメーカーから過剰在庫やキャンセル品を現金で一括大量買い付けする。巨大な自社物流網を通じて各店舗へ機動的に日次配送を行う仕組みを構築。百貨店比で20～60%引きの圧倒的な低価格を実現し、EC展開を持たず店舗での「宝探し」体験に特化する。本社はカリフォルニア州。

注目ポイント

□ **ディフェンシブ・グロス銘柄**: 最新既存店売上高は同17%増と急増中、消費者の低価格志向と生活防衛意識の恩恵を直接享受する。中高所得者層のダウングレード(より安い店への顧客流入)が定着しているトレンドがあり、同社はディフェンシブ・グロス銘柄として評価したい。

□ **経営はAI駆使も店舗体験はアンチAI戦略**: 電子商取引にはない実店舗での体験を強みとしつつ、需要予測や物流網の最適化にAIを活用し在庫回転率を向上。アパレルメーカー側の過剰在庫を背景に、優良ブランドを破格で仕入れられる調達環境の好転も追い風。客数増による営業レバレッジ効果や、継続的な自社株買いによる強固な株主還元が下値をサポートし、安定した成長が見込まれる。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	208.83 (06/29)
52週高値(日付)	242.72 (26/06/12)
52週安値(日付)	126.385 (25/07/16)
時価総額	670億ドル 10兆8,482億円
株価変化率(%)	15.6 (過去6ヶ月間) 63.3 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	29.2 (倍)
株価売上高比率	2.8 (倍)
PBR	10.6 (倍)
税前提当利回り(%)	0.85 (直近年率)
配当成長率(%)	10.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	39.0 (%)
株式ベータ	0.73 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2025/01	21,129	4	2,586	12	2,091	12	6.32	1.470
2026/01	22,751	8	2,707	5	2,145	3	6.61	1.620

四半期業績

2026/Q1	4,985	—	606	—	479	—	1.47	0.405
2027/Q1	6,010	21	804	33	650	36	2.02	0.445

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

生成AI(人工知能)に欠かせない超高性能半導体を開発、AI分野で主導権を掌握

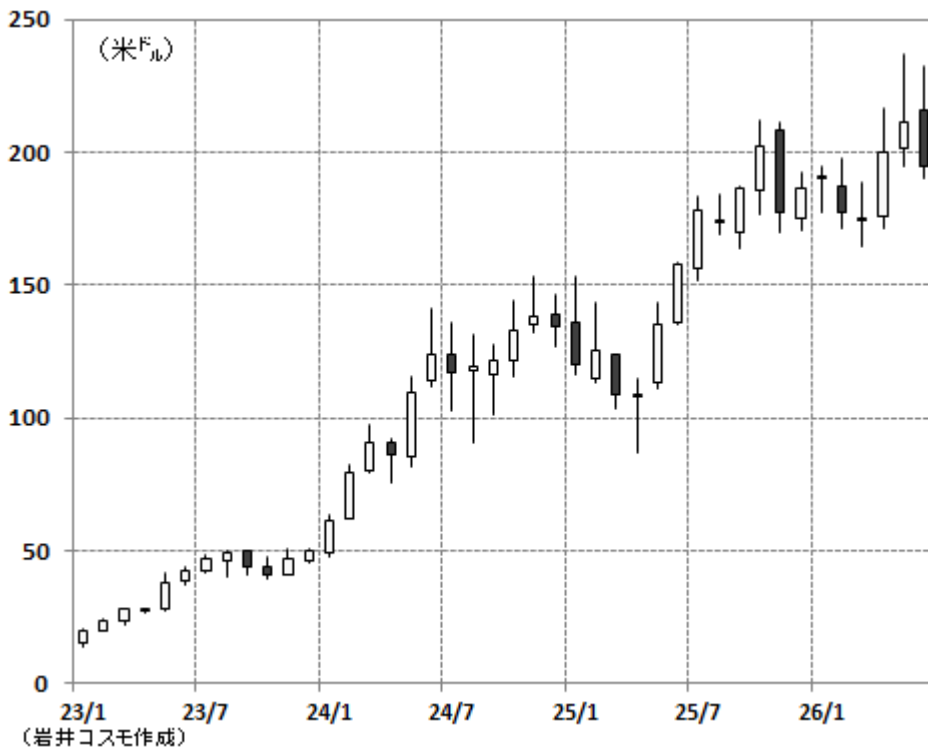
会社概要

1993年設立の米半導体大手。PCゲーム向けの画像処理半導体(GPU)の開発からスタートしたが、現在はデータセンター(DC)向けのAI用半導体で世界市場を高いシェアを有する。ハードウェアだけでなく、AI開発に不可欠なソフトウェア基盤「CUDA」を提供、他社の追随を許さない強力なエコシステムを構築。用途別売上構成は、DC向けが90%、ゲーム向けが7%、プロ視覚化が1.5%、自動車が1.1%、OEM&IPが0.3%(前期)。

注目ポイント

□ **AI PC用CPU市場へ本格参入へ**：「ブラックウェル」の力強い需要が続くなか、6月の台湾コンピュータでは次世代AI基盤「ベラルーベン」の展開を披露しサンプル出荷を開始。またAI PC向け新CPUプラットフォームを発表し、PC市場への本格参入を鮮明にした。従来の部門を「エッジコンピューティング」へ統合しクラウドから端末まで競争力を示した。

□ **2-4月期は最高益、27年売上1兆ドルへ**：5月20日発表の2-4月期決算は売上高が前年同期比85%増の816億ドルと過去最高を更新し、データセンター向けが92%増と牽引。自律稼働する「エージェントAI」の進化で計算需要が急増中であり、25~27年の累計売上「最低1兆ドル」という新目標に向け高度成長を裏付けている。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	194.97 (06/29)
52週高値(日付)	236.54 (26/05/14)
52週安値(日付)	151.5 (25/07/01)
時価総額	4兆7,183億ドル 764兆0773億円
株価変化率(%)	3.6 (過去6ヶ月間) 23.6 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	34.1 (倍)
株価売上高比率	18.7 (倍)
PBR	24.2 (倍)
税前提当利回り(%)	0.51 (直近年率)
配当成長率(%)	600.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	114.3 (%)
株式ベータ	1.71 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2025/01	130,497	114	81,453	147	72,880	145	2.94	0.034
2026/01	215,938	65	130,387	60	120,067	65	4.90	0.040

四半期業績

2026/Q1	44,062	—	21,638	—	18,775	—	0.76	0.010
2027/Q1	81,615	85	53,536	147	58,321	211	2.39	0.010

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

インターネット検索サービス世界最大手、ネット広告以外の収益基盤拡大も進行

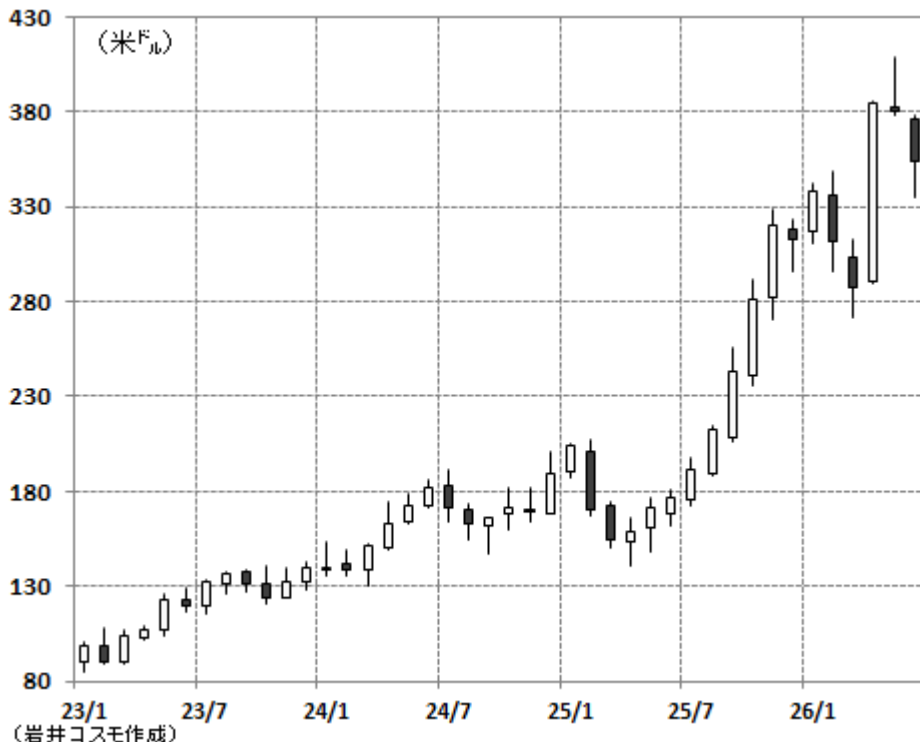
会社概要

ネット検索サービス世界最大手「グーグル」を傘下に置く持株会社。97年にサービス開始、04年8月上場。検索広告が主要収入源。革新力で定評があり、モバイル端末の無料基本ソフト「アンドロイド」は、同社の開発。またアプリ・コンテンツ販売やクロムブック事業、クラウド型ビジネス向けソフトの開発のほか、ロボタクシー事業「ウェイモ」などの事業展開も。2026年6月、NYダウ工業株平均に新規採用された。

注目ポイント

□**ジェミニ効果と巨額増資**: 1-3月期決算はクラウド部門売上が前年同期比63%増の200億ドルと生成AIジェミニ需要を受けて大躍進。一方、26年6月にはAIインフラ拡充へベンチャーからの100億ドル出資を含む総額847.5億ドルの増資を実施、巨額投資を続けAI市場の覇権を狙う。

□**AIエージェント戦略と新モデル**: 5月の開発者会議(I/O)では、高速・高コストの新モデル「ジェミニ3.5フラッシュ」や動画生成・編集対応のマルチモデル「ジェミニ・オムニ」等を発表した。また、24時間自律稼働する個人用AIエージェント「ジェミニ・スパーク」を投入し、自社クラウドと連携。AIを指示待ちから自律行動型へ進化させ、自社エコシステムの競争力を一段と強固にする姿勢を示した格好。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	353.65 (06/29)
52週高値(日付)	408.6 (26/05/18)
52週安値(日付)	172.78 (25/07/09)
時価総額	4兆2,915億ドル 694兆9722億円
株価変化率(%)	12.8 (過去6ヶ月間) 98.1 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	36.2 (倍)
株価売上高比率	10.1 (倍)
PBR	9.0 (倍)
税前提当利回り(%)	0.25 (直近年率)
配当成長率(%)	4.9 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	38.9 (%)
株式ベータ	1.12 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	350,018	14	112,390	33	100,118	36	8.04	0.60
2025/12	402,836	15	129,039	15	132,170	32	10.81	0.83

四半期業績

2025/Q1	90,234	—	30,606	—	34,540	—	2.81	0.20
2026/Q1	109,896	22	39,696	30	62,578	81	5.11	0.21

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

播陽証券

社名 (ティッカー)

アップル(AAPL)

上場市場

ナスダック

セクター

IT機器

スマートフォン等のデジタル機器の設計・販売大手、高いブランド力が強み

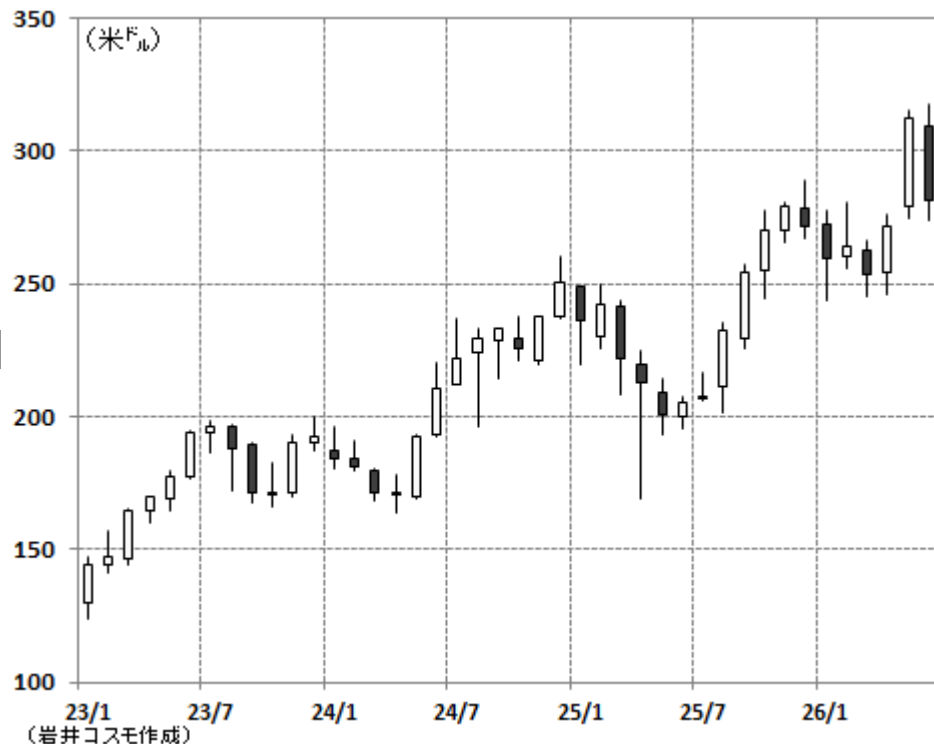
会社概要

スマートフォン(スマホ)「 아이폰 」や、タブレットPC「 アイパッド 」などデジタルIT機器を設計・販売。1977年に設立。スティーブ・ジョブズ氏が1997年に復帰し、次々と革新性のある製品投入、再興を果たす。2011年のジョブズ氏没後は現クックCEO体制へ、2012年以降は大規模な株主還元策を開始。独自の基本ソフト開発やアプリ販売等で他社と一線を画す。2015年3月、NYダウ工業株平均に採用された。

注目ポイント

□ **iPhone買い替えで記録的増収**: 26年1-3月期売上高は前年同期比17%増の1112億ドル、1株利益は同22%増の2.01ドルと市場予想を上回った。AI機能が強化された「iPhone17」シリーズの買い替え需要が牽引し、同部門売上は22%増の570億ドル。懸念された中華圏売上も28%増と、大きく伸長した。

□ **WWDC発表と製品一斉値上げ**: 6月のWWDCで次期OS「iOS 20」と大幅に進化した生成AI機能の全貌が披露された。世界的なメモリ価格の高騰を背景に6月25日にMacやiPadなど主力製品の異例の一斉値上げが発表された。9月に就任するターナス次期CEOの新体制下で収益性の維持と次世代AIへの移行をどう進めるか注目される。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	281.74 (06/29)
52週高値(日付)	317.38 (26/06/08)
52週安値(日付)	199.27 (25/06/30)
時価総額	4兆1,380億ドル 670兆1103億円
株価変化率(%)	2.9 (過去6ヶ月間) 40.1 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	34.1 (倍)
株価売上高比率	9.2 (倍)
PBR	38.8 (倍)
税前提当利回り(%)	0.38 (直近年率)
配当成長率(%)	4.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	141.5 (%)
株式ベータ	1.05 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/09	391,035	2	123,216	8	93,736	-3	6.08	0.98
2025/09	416,161	6	133,050	8	112,010	19	7.46	1.02

四半期業績

2025/Q2	95,359	—	29,589	—	24,780	—	1.65	0.25
2026/Q2	111,184	17	35,885	21	29,578	19	2.01	0.26

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

ソフトウェア世界最大手、生成AI技術実装・クラウド事業で高成長続く

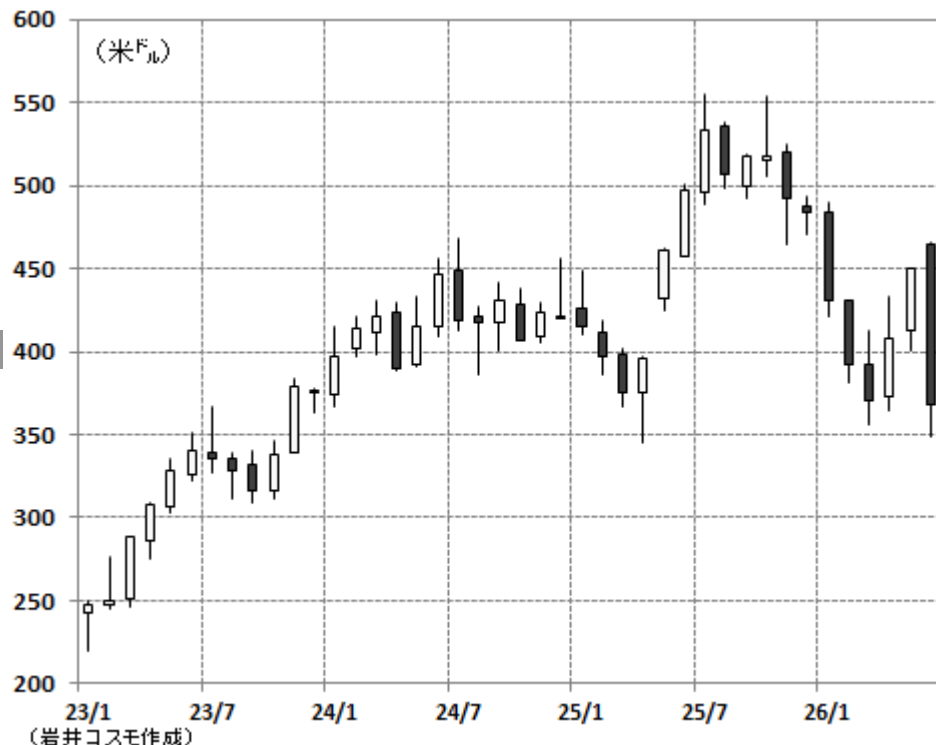
会社概要

1975年創立。PC用OS「ウィンドウズ」や業務ソフト「オフィス」で圧倒的シェアを誇る米IT大手。近年はクラウド基盤「アジュール」が急成長し収益の柱。生成AI分野を強力に牽引しており、対話型AIを手掛けるオープンAIの筆頭株主として協業体制を構築。MSとオープンAIの技術の両方を活用したAI機能「コパイロット」を自社製品群に全面展開し、法人・個人双方で高付加価値化を推進中。NYダウ工業株平均構成銘柄。

注目ポイント

□クラウド事業拡大続く：1-3月期売上高は前年同期比18%増の829億ドル。中でもアジュールを含むインテリジェント・クラウド部門の売上高は30%増の347億ドルと好調。アジュール単体の成長率も40%へ再加速した。AI事業の年間換算売上高が370億ドル(同123%増)を突破し、巨額のAIインフラ投資を背景に旺盛なAI需要の収益化が進展した。

□オープンAIとの契約見直し：26年4月、オープンAIとの提携を改定し、AIモデルの独占的ライセンス契約を終了した。オープンAIはAWS等他社クラウドでの製品提供が可能に。MSは主要なクラウドパートナーの地位を維持し、32年まで技術を利用できる非独占的権利を確保。自社からの収益分配廃止やAGI到達時の無効条項撤廃など関係を再構築した。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	368.57 (06/29)
52週高値(日付)	555 (25/07/31)
52週安値(日付)	349.2 (26/06/25)
時価総額	2兆7,379億ドル 443兆3752億円
株価変化率(%)	-24.3 (過去6ヶ月間) -25.7 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	23.3 (倍)
株価売上高比率	8.6 (倍)
PBR	6.6 (倍)
税配前当利回り(%)	0.99 (直近年率)
配当成長率(%)	9.9 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	34.0 (%)
株式ベータ	1.05 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/06	245,122	16	109,433	24	88,136	22	11.80	3.00
2025/06	281,724	15	128,528	17	101,832	16	13.64	3.24

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2025/Q3	70,066	—	32,000	—	25,824	—	3.46	0.83
2026/Q3	82,886	18	38,398	20	31,778	23	4.27	0.91

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

インターネット小売世界最大手、ネット通販とクラウド受託サービス事業の双方で競争優位

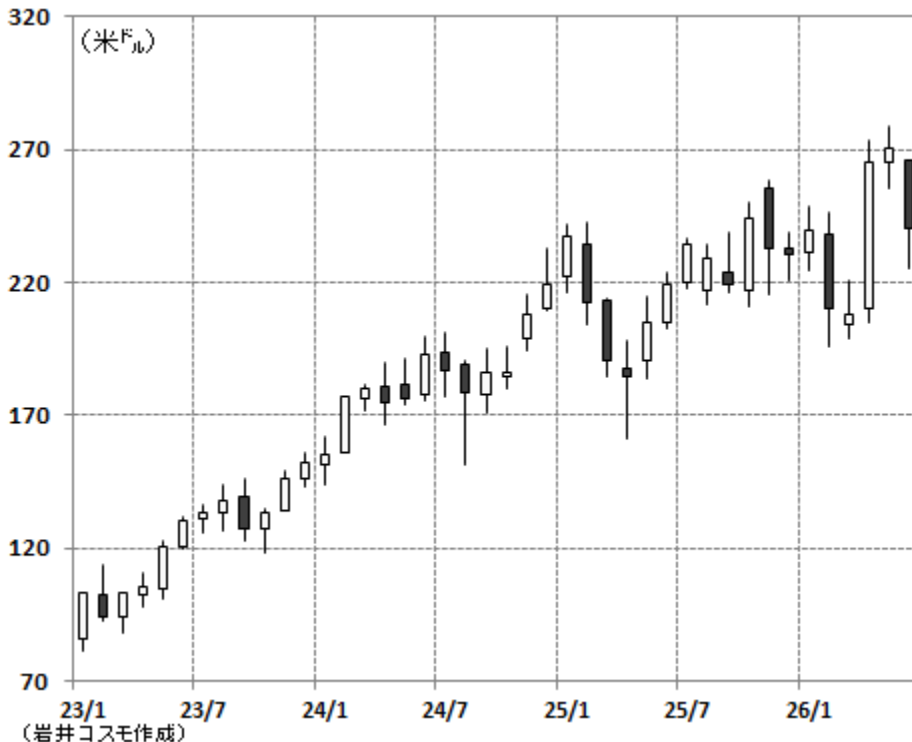
会社概要

インターネット小売世界最大手。ジェフ・ベゾス氏が設立、1995年にサービス開始。書籍中心の取扱いから急速に品揃えを拡充。電子書籍端末「キンドルファイア」シリーズ等を投入、新市場開拓に意欲的。世界で個人有料会員は2億人を超え、動画や音楽の配信サービスを提供、法人向けのデータセンター利用サービスでも存在感が高い。本社はワシントン州シアトル。2024年2月、NYダウ工業株30種平均に採用された。

注目ポイント

□ **AWSが成長再加速**: 1-3月期決算では主力AWS(クラウド)部門の売上高は前年同期比28%増の376億ドルへと加速、年換算で約1,500億ドル規模に到達。広告事業も同24%増の172億ドルと高成長を維持した。旺盛なAI需要を背景に26年度の設備投資額は2,000億ドル規模に膨らむ見通したが、全社の大幅な増益で吸収する構え。

□ **物流網の外部開放で新収益源を獲得**: 5月に自社の強固な物流ネットワークを外部企業に開放するサービス開始を発表。アマゾン以外のECサイト等で販売される荷物の保管から配送までも一括で請け負う。かつての自社用システムを外部提供して急成長した「AWSの物流版」とも位置付けられ、新たな収益の柱が誕生するのか注目される。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	240.14 (06/29)
52週高値(日付)	278.54 (26/05/05)
52週安値(日付)	196.13 (26/02/17)
時価総額	2兆5,832億ドル 418兆3254億円
株価変化率(%)	3.5 (過去6ヶ月間) 7.5 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	34.2 (倍)
株価売上高比率	3.5 (倍)
PBR	5.8 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	24.3 (%)
株式ベータ	1.34 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	637,959	11	68,593	86	59,248	95	5.53	0.00
2025/12	716,924	12	79,975	17	77,670	31	7.17	0.00
四半期業績								
2025/Q1	155,667	—	18,405	—	17,127	—	1.59	0.00
2026/Q1	181,519	17	23,852	30	30,255	77	2.78	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

日々35億人超のユーザーが利用する世界最大のSNS運営会社

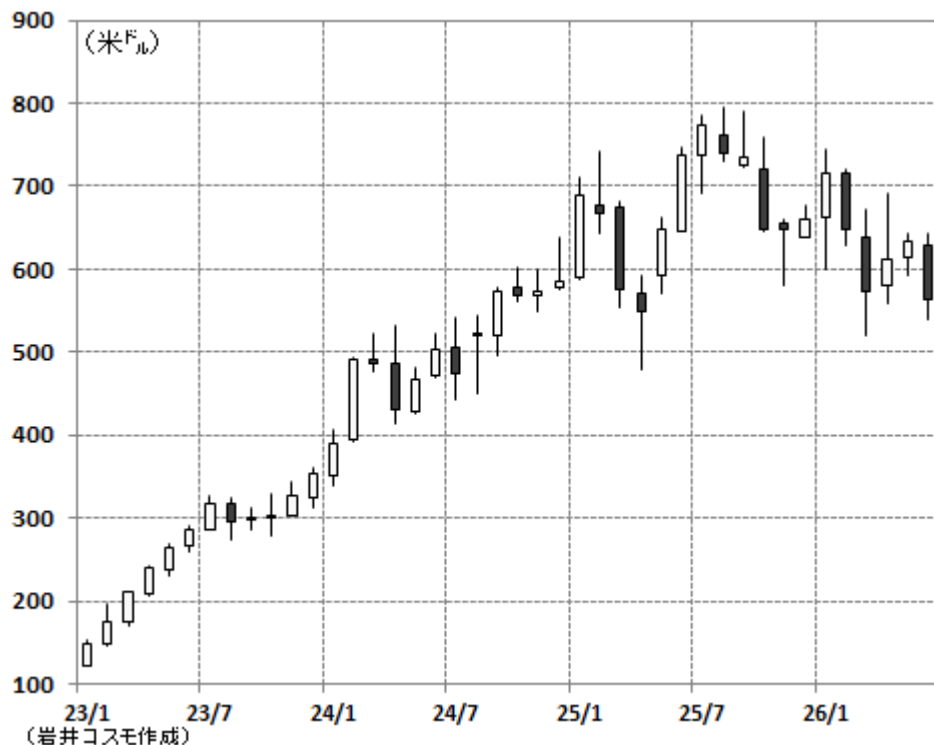
会社概要

世界最大のSNS運営会社。2004年設立、毎日利用する会員数(インスタグラム等も含む)は全世界で35.6億人(26年1-3月期)。マーク・ザッカーバーグ氏が大学在学時代に立ち上げ、サクセス・ストーリーは映画化された。2021年に社名を「フェイスブック」から現在の「メタ・プラットフォームズ」に変更し、メタバースに注力する姿勢を鮮明にした。本社はカリフォルニア州メンロパーク、従業員数は77,986人(26年3月末時点)。

注目ポイント

□ **AI特化の組織再編と人員削減の完了**: 1-3月期決算は売上高が前年同期比33%増の563.1億ドルと好調な一方、今期設備投資は最大1450億ドル規模へ拡大。これに伴う5月の全従業員約10%削減につき、CEOは社内メモで年内の追加実施を否定。7000人をAI部門へ配置転換し、AI主導の体制構築を急ピッチで進めている。

□ **コンテンツ収益化の統合と広告単価の上昇**: 従来分散していたリール動画や写真等の収益化プログラムを単一の「コンテンツ収益化」へ統合する動きが本格化。クリエイターの収益獲得を容易にすることで良質なコンテンツを囲い込み、自社エコシステムを強化した。AIによる配信最適化で広告単価も上昇傾向にあり、収益力の底上げに寄与している。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	562.6 (06/29)
52週高値(日付)	796.21 (25/08/15)
52週安値(日付)	520.26 (26/03/27)
時価総額	1兆4,281億ドル 231兆2693億円
株価変化率(%)	-14.6 (過去6ヶ月間) -23.3 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	16.7 (倍)
株価売上高比率	6.6 (倍)
PBR	5.9 (倍)
税前提当利回り(%)	0.37 (直近年率)
配当成長率(%)	2.4 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	32.9 (%)
株式ベータ	1.31 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	164,501	22	69,380	48	62,360	59	23.86	0.00
2025/12	200,966	22	83,276	20	60,458	-3	23.49	2.00
四半期業績								
2025/Q1	42,314	—	17,555	—	16,644	—	6.43	0.525
2026/Q1	56,311	33	22,872	30	26,773	61	10.44	0.525

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

従来の概念を覆す電気自動車メーカー世界大手

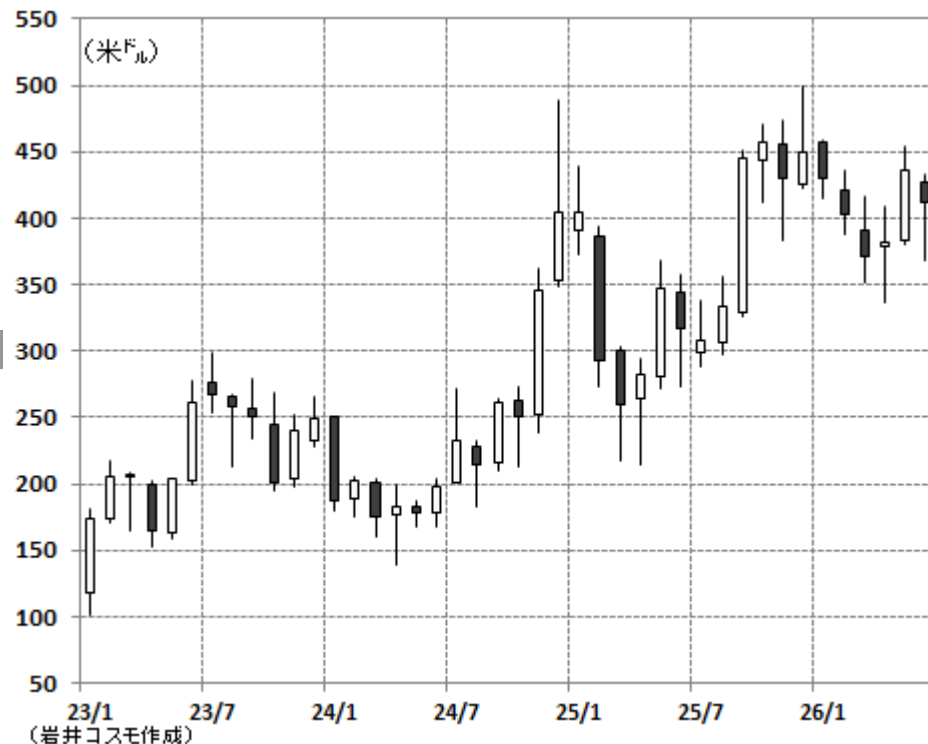
会社概要

2003年創業の世界的な電気自動車(EV)メーカー。高速・長距離走行が可能でEVの大量生産・開発を行う。2017年2月に社名を「テスラ・モーターズ」から「テスラ」に変更。25年のEV納車台数は前期比9%減の163.6万台。CEOのイーロン・マスク氏は米政財界で大きな影響力を持ち、宇宙開発ベンチャーのスペースXのCEOを兼任する等、世界を代表するカリスマ経営者として知られる。S&P500種構成銘柄。

注目ポイント

□**本業EVの回復と自動運転の成長**: 1-3月期決算は納車台数は同6%増の約35.8万台で、需要持ち直しにより第1四半期として過去2年で最高の受注残を記録し本業EVに回復の兆しが見られた。定額課金へ移行した自動運転の有料顧客が約130万人に達し、フリーキャッシュフローは約14.4億ドルの大幅黒字を確保した。

□**スペースXと経営統合観測**: 6月12日にはマスク氏率いる宇宙開発企業スペースXがナスダックに新規上場し過去最大のIPO(新規株式公開)となった。市場では将来的に同社とテスラが経営統合し、EV・宇宙通信・AIが融合する巨大テクノロジー企業が誕生するとの観測が浮上しており、今後の展開に大きな関心が集まっている。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	411.84 (06/29)
52週高値(日付)	498.82 (25/12/22)
52週安値(日付)	288.8 (25/07/07)
時価総額	1兆5,468億ドル 250兆4819億円
株価変化率(%)	-10.4 (過去6ヶ月間) 27.3 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	338.9 (倍)
株価売上高比率	13.6 (倍)
PBR	18.4 (倍)
税前列当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	4.9 (%)
株式ベータ	1.53 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	97,690	1	7,076	-20	7,091	-53	2.04	0.00
2025/12	94,827	-3	4,355	-38	3,794	-46	1.08	0.00

四半期業績

2025/Q1	19,335	—	399	—	409	—	0.12	0.00
2026/Q1	22,387	16	941	136	477	17	0.13	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

米半導体メモリ大手、AI向けのHBM特需と汎用品価格急騰の二重の追い風

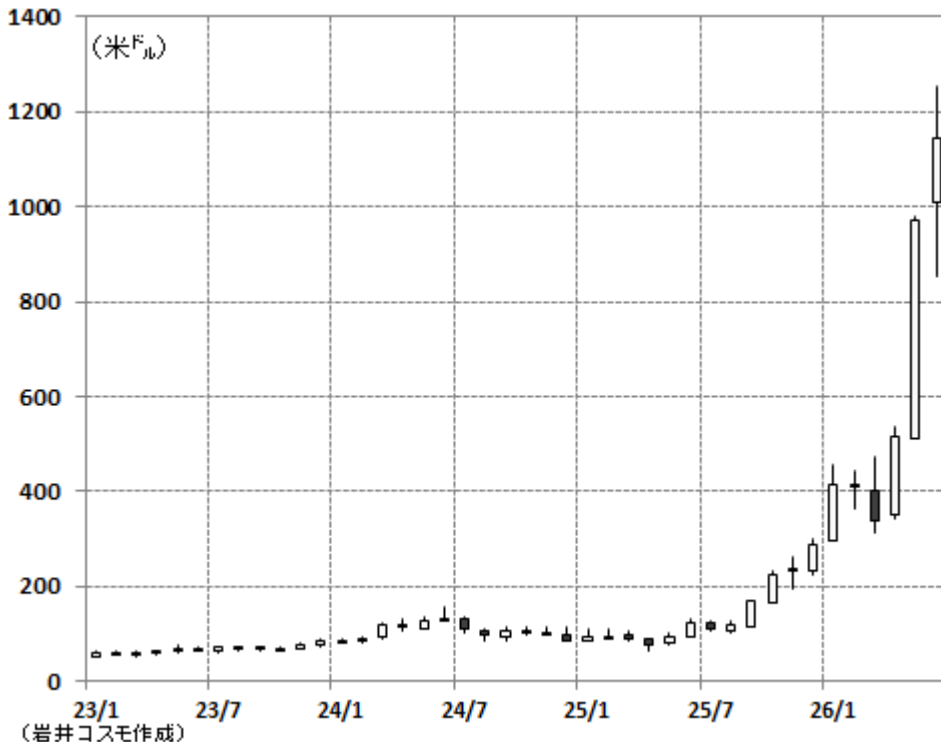
会社概要

1978年設立の米半導体大手。DRAMやNAND型フラッシュメモリなど記憶媒体の設計・製造を手掛ける。サムスン電子、SKハイニックスと共に世界のメモリ市場を寡占。スマホやPC向けに加え、近年はデータセンターや車載向けを強化。特に生成AIサーバに不可欠な広帯域メモリ(HBM)の開発に注力し、エヌビディアの最新GPUにも採用されている。製品別売上構成(25年度)はDRAMが76%、NANDフラッシュ23%。

注目ポイント

□ **驚異的増収が継続**: 3-5月期決算は売上高が前年同期比約4.5倍の414.6億ドル、調整後1株利益は25.11ドルと市場予想を大幅に上回った。AI向け広帯域メモリ(HBM)の需要急増による供給不足で価格が高騰、粗利益率は約85%を記録。HBM4生産分も既に完売し、会社側はAI需要の成長ストーリーはまだ初期段階にあると強調した。

□ **増産に向け巨額投資**: 6-8月期の売上高見通しは約500億ドル、粗利益率は約86%と強気なガイダンスを提示。AI需要を確実に取り込むべく、26年度の設備投資計画を約270億ドルへ増額し、27年度は400億ドル台半ばを見込むとした。時価総額は1兆ドル超えを果たし、市場はメモリの需給逼迫の状況がいつまで続くのか注目している。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	1145.28 (06/29)
52週高値(日付)	1255 (26/06/25)
52週安値(日付)	103.39 (25/08/01)
時価総額	12,935億ドル 2,09兆4,648億円
株価変化率(%)	289.1 (過去6ヶ月間) 818.0 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	25.7 (倍)
株価売上高比率	14.3 (倍)
PBR	12.8 (倍)
税前配当利回り(%)	0.05 (直近年率)
配当成長率(%)	7.6 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	66.6 (%)
株式ベータ	2.12 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/08	25,111	62	1,304	黒転	778	黒転	0.70	0.460
2025/08	37,378	49	9,770	7.5倍	8,539	11倍	7.59	0.460
四半期業績								
2025/Q3	9,301	—	2,169	—	1,885	—	1.68	0.115
2026/Q3	41,456	4.5倍	33,318	15倍	28,243	15倍	24.67	0.150

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

インテルやエヌビディアのライバル半導体メーカー、市場シェア獲得に期待

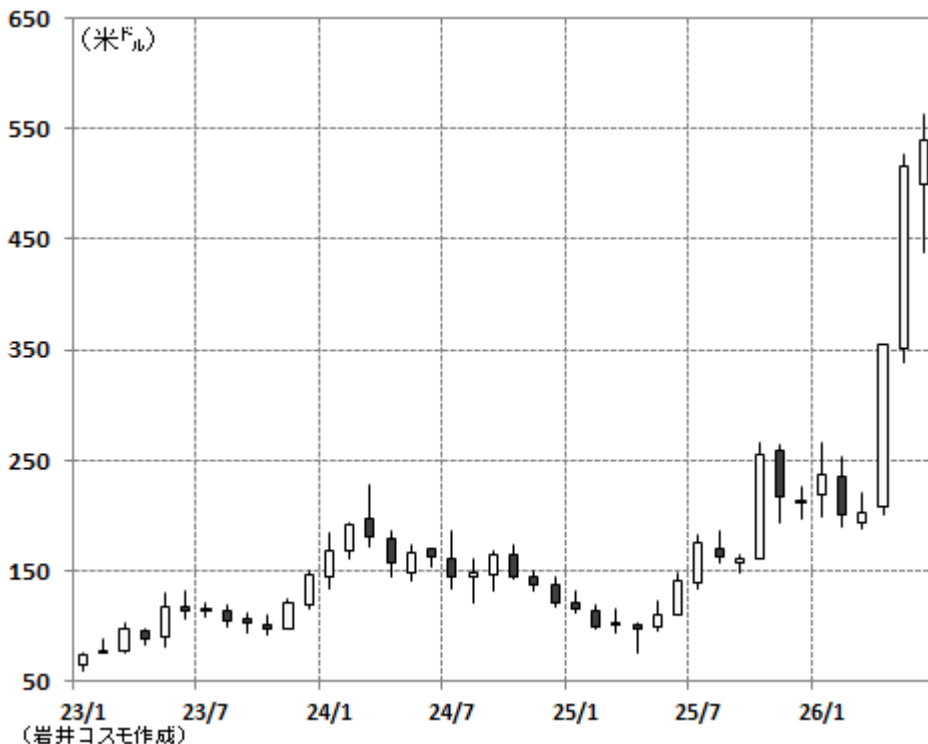
会社概要

1969年設立の老舗半導体メカ。自社で工場を持たないファブレス型の米半導体大手。PC向けCPU「Ryzen」やサーバ向けCPU「EPYC」、AI向けGPU「Instinct」を展開。22年にザイリンクスを買収しFPGA分野にも参入。年初のCES 2026では次世代GPUとCPUを統合したAI基盤「Helios」を発表する等、チップ単体からAIシステム全体を提供する企業へと進化。CPUでインテル、GPUでエヌビディアと激しいシェア争いを展開。

注目ポイント

□ **巨大ITと大型契約**: エヌビディア一強への依存や価格支配を嫌う巨大IT企業が、同社AIアクセラレータの採用を拡大。推論分野での高コストを武器に他巨大クラウドベンダーからの受注も進み、AI・GPU市場でのシェア獲得が期待される。

□ **AIエージェント普及でCPU需要拡大**: 1-3月期決算はAIインフラ需要が牽引し、DC事業売上が前年同期比57%増の58億ドルと急拡大。全体は同38%増収、同95%最終増益を達成。AIエージェントの普及を受けてCEOはサーバ向けCPU市場が年率35%超で成長し、2030年までに1200億ドル超へ拡大するとの強気な見通しを提示した。端末側での「AI PC」本格展開も追い風となり、本格的な利益成長加速に期待。



株価データ	
株価(米ドル)	539.49 (06/29)
52週高値(日付)	562.5 (26/06/22)
52週安値(日付)	133.5 (25/07/07)
時価総額	8,797億ドル 1,42兆4,574億円
株価変化率(%)	150.2 (過去6ヶ月間) 275.1 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	186.7 (倍)
株価売上高比率	23.4 (倍)
PBR	13.6 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	8.2 (%)
株式ベータ	1.69 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	25,785	14	1,900	374	1,641	92	1.00	0.00
2025/12	34,639	34	3,694	94	4,335	164	2.65	0.00
四半期業績								
2025/Q1	7,438	—	806	—	709	—	0.44	0.00
2026/Q1	10,253	38	1,476	83	1,383	95	0.84	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

スマホ向け通信半導体の最大手、「エッジAI」や車載事業が成長

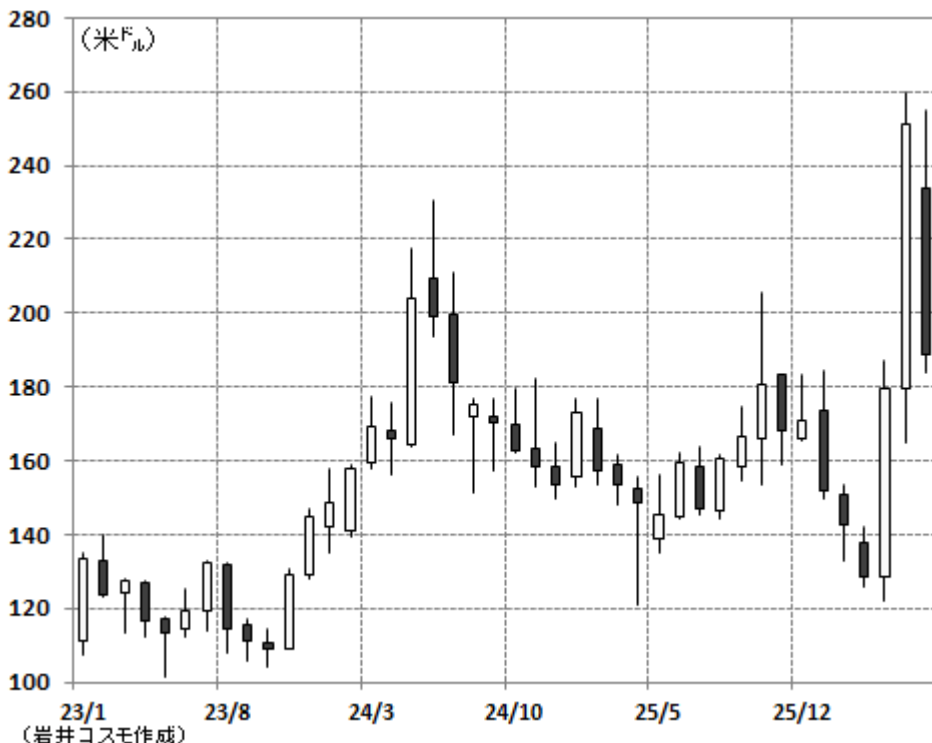
会社概要

1985年創立。スマートフォン向け通信半導体で世界トップシェアを誇る米半導体大手。通信特許のライセンス事業(QTL)と半導体設計事業(QCT)が両輪。長年スマホ依存が高かったが、近年は主力の「スナップドラゴン」を車載やIoT分野へ展開し、事業の多角化を推進。生成AI分野では、通信不要で端末側で処理を行うエッジAIに注力し、最新AI機能搭載のPC向け半導体も本格展開。ナスダック100構成銘柄。

注目ポイント

□ **足下業績は車載・IoTが牽引**: 26年1-3月期売上高は106億ドル。スマホ向けが伸び悩む中、車載向け売上高は前年同期比38%増の約13億ドルと過去最高を更新。IoT部門と合わせた非スマホ部門の売上高は20%増を記録し、事業の多角化が奏功。3月には200億ドルの新たな自社株買いプログラムも発表し株主還元も強化する。

□ **AIソフトウェア企業買収**: 6月24日の投資家説明会では、AI半導体への本格参入を鮮明にした。SNS最大手メタと、データセンター向けCPUの複数年供給契約を締結したと発表。同時にAIソフトウェア企業モジュラを約39億ドルの株式交換で買収すると発表、エヌビディアの「CUDA(クダ)」に対抗する独自のAI基盤構築を目指す方針を示した。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	188.72 (06/29)
52週高値(日付)	259.88 (26/05/29)
52週安値(日付)	122 (26/04/07)
時価総額	1,989億ドル 32兆2,116億円
株価変化率(%)	8.8 (過去6ヶ月間) 19.0 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	20.5 (倍)
株価売上高比率	4.6 (倍)
PBR	7.3 (倍)
税前提当利回り(%)	1.95 (直近年率)
配当成長率(%)	4.4 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	36.1 (%)
株式ベータ	1.49 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/09	38,962	9	10,071	29	10,142	40	8.97	3.30
2025/09	44,284	14	12,355	23	5,541	-45	5.01	3.48
四半期業績								
2025/Q2	10,979	—	3,120	—	2,812	—	2.52	0.85
2026/Q2	10,599	-3	2,309	-26	7,370	162	6.88	0.89

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

通信接続用半導体大手、アマゾンのAI用半導体を手掛ける、M&Aで光通信分野を強化

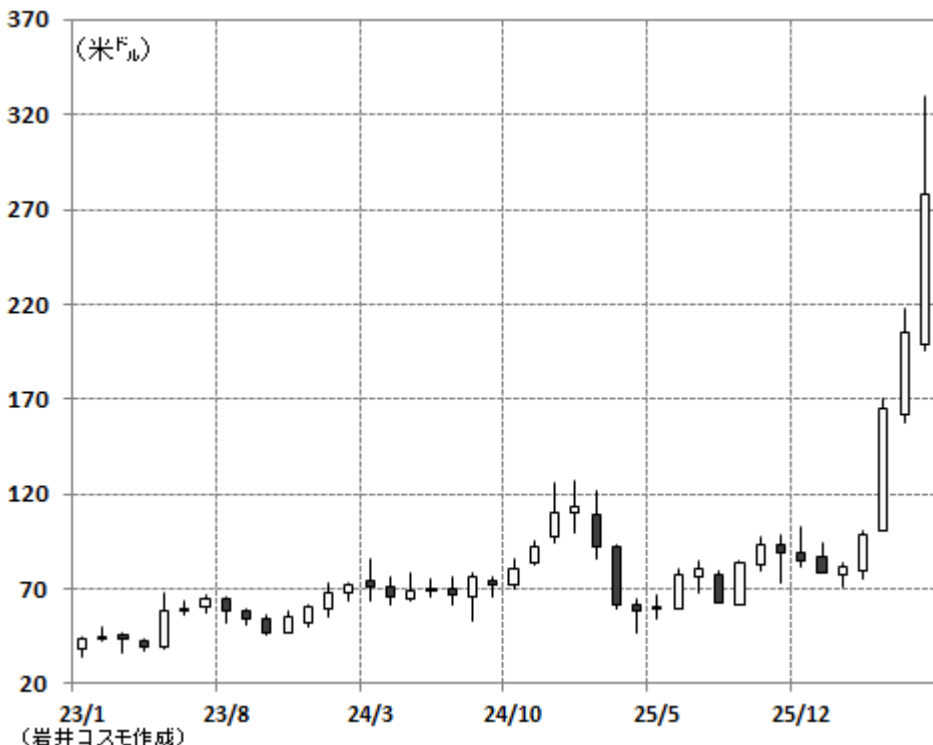
会社概要

1995年創立のファブレス半導体メーカーで、台湾TSMC等に生産委託。データセンター(DC)や通信インフラ向け半導体を手掛ける。祖業はストレージ分野だが、現在はAI向け通信事業などに完全にシフト。光通信を高速化する製品を豊富に揃え、近年は特定用途向けカスタム半導体(ASIC)の開発を強化し、24年にアマゾンAWSと協業拡大。26年2月に光電融合技術を持つセレスティアルAIを買収した。

注目ポイント

□ **AI需要急拡大で過去最高売上**: 2-4月期決算は、売上が前年同期比28%増の24.2億ドルと過去最高を更新。牽引役のデータセンター部門は売上の76%を占める18.3億ドルへと急拡大。旺盛なAI関連需要を受け、27年度通期の売上見通しを約115億ドル(約40%増)へ、28年度通期を約165億ドルへ上方修正した。

□ **コンピューテックスで次世代接続を強調**: 6月の台湾コンピューテックス基調講演でマフィCEOは「AI拡張の未来は接続性に依存する」と提唱。AIの次なるボトルネック解消に向け、業界初の102.4Tbpsスイッチ等、包括的な通信基盤を披露した。エヌビディアとの提携など広範なエコシステムを活かし、AIデータセンターの通信インフラ領域でシェア獲得を目指す。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	277.75 (06/29)
52週高値(日付)	329.86 (26/06/18)
52週安値(日付)	61.44 (25/09/04)
時価総額	2,430億ドル 39兆3,475億円
株価変化率(%)	223.9 (過去6ヶ月間) 260.0 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	184.7 (倍)
株価売上高比率	27.5 (倍)
PBR	13.4 (倍)
税前提当利回り(%)	0.09 (直近年率)
配当成長率(%)	0.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	16.0 (%)
株式ベータ	1.80 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2025/01	5,767	5	-720	赤継	-885	赤継	-1.02	0.24
2026/01	8,195	42	1,323	黒転	2,670	黒転	3.07	0.24
四半期業績								
2026/Q1	1,895	—	271	—	178	—	0.20	0.06
2027/Q1	2,418	28	339	25	35	-81	0.04	0.06

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

オランダの半導体製造装置世界大手、最先端半導体に不可欠なEUV露光装置を市場へ独占的に供給

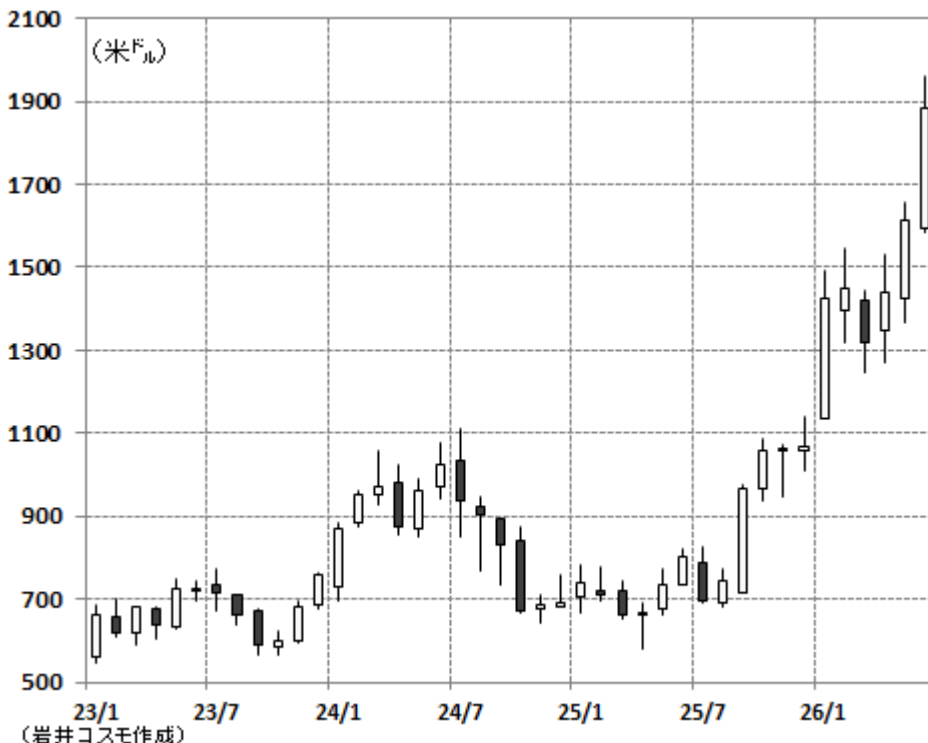
会社概要

1984年にオランダのフィリップスとASMインターナショナルの合併で設立。最先端の半導体製造に不可欠な極端紫外線(EUV)露光装置を世界で唯一供給する独占的企業。主な顧客はTSMC、インテル、サムスン電子など世界の大手半導体メカ等。旧世代の深紫外線(DUV)露光装置でも高いシェアを誇り、AI半導体を含む世界のチップ製造エコシステムの最上流で優位な地位を確立。欧州テック企業の代表的存在。

注目ポイント

□**次世代EUVの本格化**: AI半導体の微細化(2ナノプロセス以降)に必須となる次世代機「高NA(開口数)EUV」の納入が進行中。標準機の単価が約2億ドルであるのに対し、次世代機は約4億ドルに達する超高額装置が業績に貢献する。2030年売上高目標440億~600億ユーロ、粗利益率56%~60%の達成に向け、受注残の消化を推進する。

□**マスク氏の「テラファブ」構想への関与**: E.マスク氏が推進する550億ドル規模のAI半導体工場「テラファブ」構想でEUV露光装置の提供に言及があった。6月の社内会議にはマスク氏が登壇し協業を深める姿勢を示した。既存顧客の旺盛な需要に加え、巨大プロジェクトによる新たな供給逼迫も予想されており、生産能力の拡充が急務となっている。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	1883.11 (06/29)
52週高値(日付)	1958 (26/06/22)
52週安値(日付)	683.59 (25/08/01)
時価総額	7,309億ドル 1,18兆3,660億円
株価変化率(%)	76.7 (過去6ヶ月間) 136.6 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	63.7 (倍)
株価売上高比率	18.9 (倍)
PBR	30.7 (倍)
税配当利回り(%)	0.67 (直近年率)
配当成長率(%)	26.5 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	52.2 (%)
株式ベータ	1.30 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ユーロ)	前同比 (%)	営業利益 (百万ユーロ)	前同比 (%)	当期利益 (百万ユーロ)	前同比 (%)	1株利益 (ユーロ)	配当 (ユーロ)
2024/12	28,263	3	9,023	-0	7,572	-3	19.24	6.24
2025/12	32,667	16	11,301	25	9,609	27	24.71	6.56
四半期業績								
2025/Q1	7,742	—	2,738	—	2,355	—	6.00	1.52
2026/Q1	8,767	13	3,158	15	2,757	17	7.15	1.60

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

特殊ガラス製品メーカー、AIインフラとして需要が急増する光ファイバーで復権中

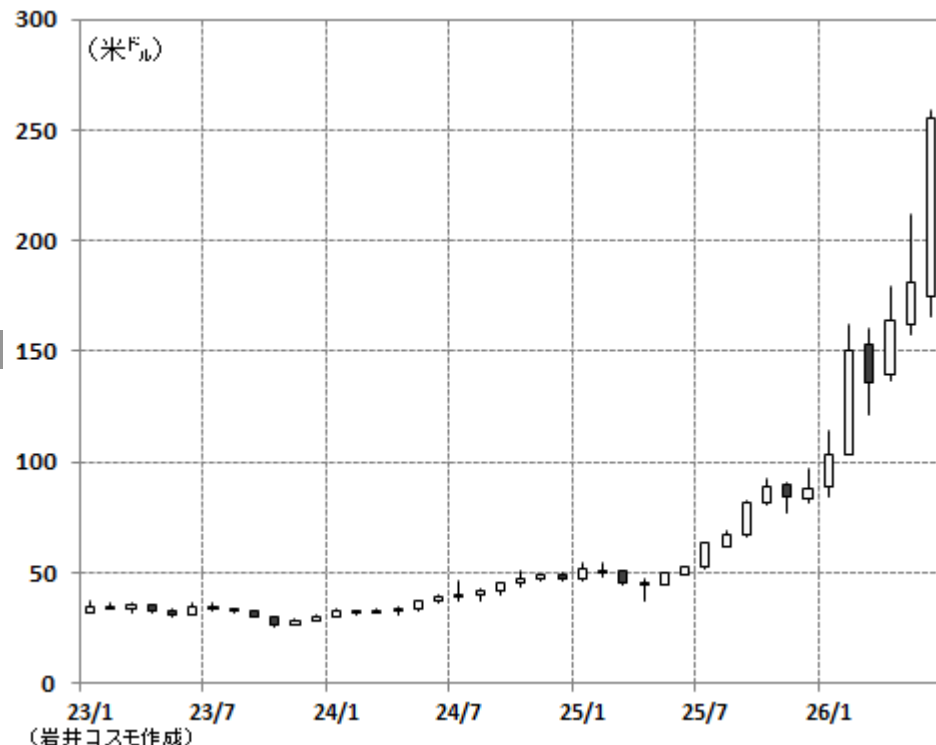
会社概要

1851年創立。特殊ガラスやセラミックスの世界最大手。エジソンの電球用ガラスに始まり、iPhoneの「ゴリラガラス」で知られる高い技術力を誇る。事業は光通信、ディスプレイ、環境、ライフサイエンス分野まで多岐に亘るが、現在はAIデータセンター需要に伴う光ファイバー関連が急成長。24年に開始した中期成長戦略「スプリングボード」の下、生成AIブームを背景に力強い回復を遂げながら、収益性向上を加速させている。

注目ポイント

□ **アマゾン等との大型契約とAI需要**: 6月にアマゾンとAIデータセンター向け光ファイバー等の数十億ドル規模の複数年供給契約を締結。ノースカロライナ州の拠点を拡張し1000人の雇用を創出する。1月のメタとの最大60億ドルの契約に続きメガテック企業との深耕が続く。米国本土のサプライチェーンを強化し急増するAIインフラ需要を取り込む。

□ **成長目標の上方修正と部門好調**: 25年8月発表のアップルからの25億ドル投資に続き、メガテック企業との深耕が続く。強固な受注を背景に、同社は事業成長計画の目標値を57.5億ドルへ上方修正した。AI需要を追い風に26年1-3月期の光通信部門の売上高は前年同期比36%増の18.5億ドルへ急拡大、業績を牽引した。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	255.69 (06/29)
52週高値(日付)	258.8 (26/06/29)
52週安値(日付)	51.345 (25/07/14)
時価総額	2,196億ドル 35兆5,687億円
株価変化率(%)	187.3 (過去6ヶ月間) 393.4 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	121.6 (倍)
株価売上高比率	13.4 (倍)
PBR	19.6 (倍)
税前提当利回り(%)	0.44 (直近年率)
配当成長率(%)	0.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	16.1 (%)
株式ベータ	1.10 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	13,118	4	1,135	28	506	-13	0.58	1.12
2025/12	15,629	19	2,279	101	1,596	215	1.83	1.12

四半期業績

2025/Q1	3,452	—	445	—	157	—	0.18	0.28
2026/Q1	4,144	20	639	44	371	136	0.43	0.28

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

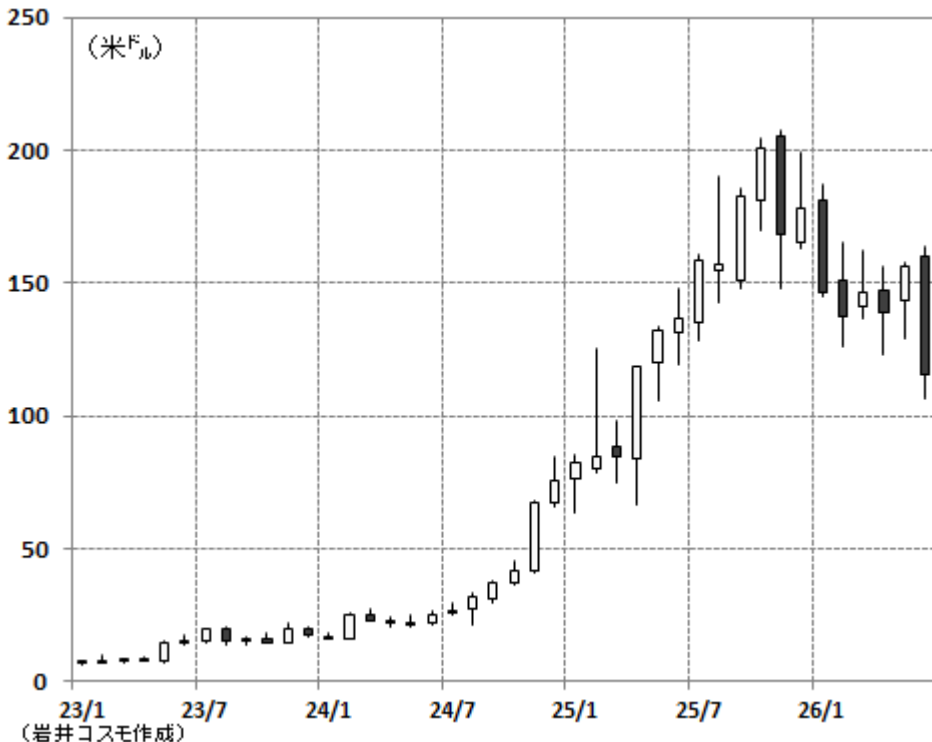
防衛から民間大手まで広範に使用可能なデータ分析プラットフォームを提供

会社概要

データ解析企業。ペイパルの共同創業者ピーター・ティール氏やCEOのアレクサンダー・カプ氏らが2004年に創業。大量のデータを短時間で解析・抽出する技術に定評。最大の強みは優秀な技術者が直接顧客先に常駐して課題解決を伴走支援する「フォワード・テプロイト・エンジニア(FDE)」体制にある。「パランティア」は映画「指輪物語」の水晶玉に由来。同銘柄はS&P500(24年9月)やナスダック100(24年12月)に採用された。

注目ポイント

- 米民間部門が驚異的な急成長**: 直近の1-3月期決算では、売上高が前年同期比85%増の16.3億ドルと上場来最高の伸びを記録。米民間売上は133%増の5.9億ドルと急成長を継続。AIプラットフォーム「AIP」導入に向けた「ブートキャンプ」が新規獲得やFDEの活動が奏功、当該四半期だけで206件もの100万ドル超の大型案件が成約した。
- 米政府部門でのAI導入が加速**: 米国防総省が同社のAI指揮統制システム「メイブンスmartシステム」を公式採用する等、政府・軍事部門での「AI実効力」の優位性を確立。直近の1-3月期において米政府向け売上高も前年同期比84%増の6.8億ドルへ再加速しており、安定的かつ長期的な資金提供の基盤が一段と強固になっている。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	115.7 (06/29)
52週高値(日付)	207.52 (25/11/03)
52週安値(日付)	106.37 (26/06/25)
時価総額	2,774億ドル 44兆9,171億円
株価変化率(%)	-37.2 (過去6ヶ月間) -11.5 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	129.5 (倍)
株価売上高比率	52.8 (倍)
PBR	32.8 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	32.9 (%)
株式ベータ	1.80 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	2,866	29	310	2.6倍	462	2.2倍	0.19	0.00
2025/12	4,475	56	1,414	4.6倍	1,625	3.5倍	0.63	0.00
四半期業績								
2025/Q1	884	—	176	—	214	—	0.08	0.00
2026/Q1	1,633	85	754	4.3倍	871	4.1倍	0.34	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

クラウド監視プラットフォーム最大手、AI監視の新市場を開拓

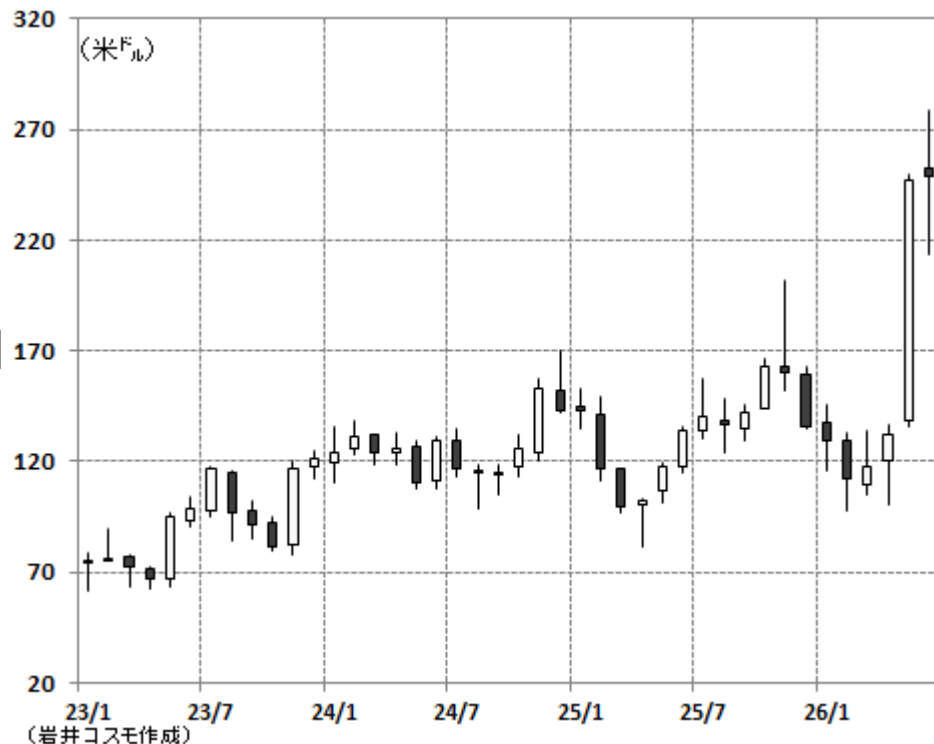
会社概要

2010年創立。クラウド環境のシステム監視(オブザーバビリティ)プラットフォームを提供するSaaS企業。サーバやアプリ、ネットワーク等の稼働状況やログデータを一元的に収集・可視化し、障害の早期発見と解決を支援する。近年はAIを活用した監視機能(LLMオブザーバビリティ)や、クラウドセキュリティ領域への拡張を進めており、設計段階からセキュリティを組み込む開発手法を提唱し存在感を高めている。本社はニューヨーク。

注目ポイント

□ **AIの健全性を見張る新市場開拓**: システム監視の強みを活かし、企業が利用する生成AIのパフォーマンスやコスト、ハルシネーション(もつともらしい嘘)の兆候を監視する機能に注力。アンソロピックやオープンAIのモデル等のAPI利用料金の暴走を防ぐなど、AIを守り・管理する独自の地位を確立している。

□ **安定した成長力と高い収益性**: システムの複雑化や生成AI普及を背景に、監視ツールの需要は底堅い。既存顧客の利用拡大(アップセル)が牽引し、23年7-9月期以降、最終黒字を継続し、安定したフリーキャッシュフローを創出。単なる監視ツールから、システム内部のセキュリティ監視基盤へと領域を広げることで、更なる市場開拓を目指す。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	248.57 (06/29)
52週高値(日付)	278.65 (26/06/01)
52週安値(日付)	98.215 (26/02/24)
時価総額	885億ドル 14兆3,299億円
株価変化率(%)	80.2 (過去6ヶ月間) 88.2 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	626.9 (倍)
株価売上高比率	23.7 (倍)
PBR	22.2 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	3.9 (%)
株式ベータ	1.28 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	2,684	26	54	黒転	184	278	0.52	0.00
2025/12	3,427	28	-44	赤転	108	-41	0.31	0.00
四半期業績								
2025/Q1	762	—	-12	—	25	—	0.07	0.00
2026/Q1	1,006	32	7	黒転	53	113	0.15	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

■商号等

取引注意事項

商号等： 播陽証券株式会社

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第29号

加入協会：日本証券業協会

■播陽証券の手数料及び投資リスクについて

- ①上場国内株券等委託取引の際には、約定代金に対して最大1.2265% (税込み、ただし最低2,750円)の委託手数料をご負担いただきます。
 - ②上場外国株券等委託取引の際には、約定代金(円貨)が7.5万円以下の場合は11.0%(税込)、7.5万円超50万円以下の場合は8,250円(税込)、50万円超の場合は最大で(約定代金の1.00%+2,500円)×1.1(税込)の委託手数料加算額、その他に現地取引所税等の取引手数料をご負担いただきます。
 - ③上場外国株券等店頭取引の際には、購入対価のみをお支払いいただきます。
 - ④投資信託のお取引の際には、下記の販売手数料及び信託報酬等の諸経費をご負担いただきます。
 - 販売手数料(購入価額に対して最大3.85%(税込))
 - 信託財産留保額(換金申込日、または換金申込日の翌営業日の基準価格に対して最大0.50%)
 - 信託報酬(信託財産の総資産総額に対して年率最大2.2%(税込))
 - その他、ファンドの監査費用等
- ◇株式や投資信託は投資元本が保証されているものではなく、価格や為替の変動により損失が生じるおそれがあります。商品ごとに手数料等やリスクは異なりますので、お取引の際には、契約締結前交付書面やお客様向け資料をよくお読み下さい。

■免責事項

- 当資料は、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としております。当資料で言及した銘柄や投資戦略は、投資に関するご経験や知識、財産の状況及び投資目的が異なるすべてのお客様に、一律に適合するとは限りません。投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて播陽証券がお客様にご提供いたしますが、見解の正確性、完全性、適時性などを保証するものではありません。
 - ※本資料の情報の一部は、岩井コスモ証券株式会社より取得しております。
- 当資料の情報を基に投資を行った結果、お客様に何らかの損害が発生した場合でも、播陽証券は理由の如何を問わず、一切責任を負いません。